

人事

六一一受 始 一四三六 電〇五二三九 作

親展

聯合艦隊

大本營海軍部・三浦連隊長中・廣田方國重中・二水機中
中野太平洋方面艦隊中・一戰隊中・五戰隊中

軍機

機密第一〇三二一五番電

第一機動艦隊參謀長

當艦隊新運艦ハ補給部隊運搬ニ六隻海軍部艦ニ六隻計十二隻ヲ派シ出アリ
テ手許十二隻ニ運キズ艦隊出陣時ノ運搬兵力ノ程度ヲ組エアル現狀ナ
ルヲ以テ聯合艦隊司令第一二八號ニ依ル新運艦ハ第四運搬隊(山梨
野分)トセラレタリ
併更ニ運搬スベキ補給部隊アルヲ以テ此ノ際海防艦隊増強等現存兵力
ノ増強ニ關シ更ノテ御座度ヲ得度。

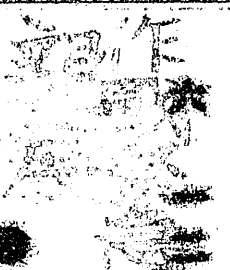
第七一五

日田A 一五七二〇(三十二)

海軍

第十信線

470



海軍大臣 幣原 信行

海軍省 局長 藤村 道生

長

海軍大臣 幣原 信行

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海軍省 局長 藤村 道生

海 軍

第... 十... 課...

471

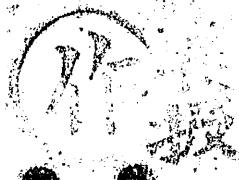
六一三

受領一四三五五

一四四五 電〇五七八一 作 署



第十信課



● 八十島・横須賀助船要隊

● 大津第一隊・海上護衛總隊・呉 鎮

横須賀第一三二〇三七番電

横須賀合作第四三〇號

八十島・甲直接護衛隊二編入(十日附)

海軍三〇〇

留▲九一七七)

横須賀

海軍

472

六一三 受領 〇〇四三〇五 〇一〇四三〇 〇六〇六一九〇 作

〇 六十二號 〇

マールツヤル方面防備隊

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

〇一三二六五二號

軍 務 部 陸 軍 部 令 長 官 第 二 十 二 號 陸 軍 部 令 官

「マールツヤル」第十二日一六〇〇

十一月二日新編行規中ノ原差一〇二〇六 〇六五三 〇七一三

陸軍部三〇号陸軍部令長官ニテ各第一〇海防隊本部員額不明一〇五

並方ニ見失フ

〇四〇三一〇四二四 一二五二一 一二五九九 四二二換一

四二二一 一四四三 〇〇〇〇

海 電 一八六七九 一八一A 一四四九七、五五〇 一四四九七



第10信 課課

473

三ノ目一ノ目〇六種七一〇六五五
 海軍一八卷一〇九〇〇並上一二〇三
 再本日本海軍史也

海

馬

第拾
十信
課課

74

六一三

● 陸軍省
● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省
● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省

● 陸軍省

海軍省

海軍

第十信課

0490

現報

六一三

受信一四三五
譯始一八一五

譯了一八三五

電〇六四四四

作

長・聯合艦隊口

暗號軍機

機密第一三〇九三八番電

發

TYF長官

當方面ニ對スル使用兵力

戰法ノ特異ナル點及

（十二日及十三

日）

日Pの索敵機ヲ發見ノモノ（當方面及Pの

敵ハ明日又ハ明後

日ヲ期シ當方面ニ上陸作戰ヲ企圖シアリト判斷ス。

（東通註 本電誤字極メテ多シ）

（東通註 本電誤字極メテ多シ）

通九一九七

呂三A一〇〇九五KC）カニケ谷

（野（大河原）

海軍

第十信課

476

六

一四

三三

三〇

四一

三〇三五九

〇六五九七

作

作戰要略

親筆

● 陸軍部

● 海軍部

● 陸・海合同要略

暗號軍機

機密第一三二〇一五番電

機密部隊合作第一九號

一、本部隊作戰要略用途ニ於テハ機密部隊作戦行動在ノ通

十四日「キヤラス」入泊相給十五日出陣十六日一八〇〇E點(一二

度)一三一度(十七日夕刻相給完了)上十九日夕刻シ決戦ノ環

定

三第一隊司令部官八第一隊隊第五戰隊第二水雷戰隊(一部缺)第四艦
隊(一部缺)朝霧十車十人隊(一〇度四〇分日一三〇E)ニ先行

通九四四二

留人(九五四〇點)廿一編二放

海

軍

(付)

第十倍課

477

0492

十六日早朝五時第一遊船乗船ヨリ海峽をノゾク會見スルシ。

第電
十信
課録

海
軍

478



作電十信課

六、一四

300606
00704
08006
0006

(66667)

作

GFNSB 参一都

機密第一四〇四三番電

1.2
2



人 N S B 慶 合 作 第 四 部 下
機 密 第 一 四 〇 四 三 番 電
及 三 AB 本 戰 指 揮 下 入 春 運 方 面 作
戰 行 進 行 セ ン ト ス
海 軍 部 隊 以 下 為 第 一 戰 隊 合 也 好 機
第 二 海 上 機 動 隊 團 下 二 部 方 面 (一 部
マ、クワリ) 輸 送 揚 陸 セ ン ト ス
各 部 隊 依 照 作 戰 準 備 ヲ ナ ス

997172) 各々 A (九〇五七)

海軍



第十信課

879

(通報) 威

(一) 揮部隊指揮官(第十六戰隊司令官)ハ第一海上機動旅団ヲ兼聽司令官ハバチヤン泊地ニ在リテ速ニ出動準備ヲ是
 完済豫定期日ヲ報告スベシ
 (二) 各指揮官ハ臺北方面海面ノ哨戒ニ
 ホーランデーア以西要地ノ偵察並ニ
 陸攻隊ノ一部ヲ以テコックデア
 アアノ敵艇空母カヲ近間奇襲ス
 ルト共ニ速ニ兵力ヲ整頓シ六月
 七日以後揮部隊ノ作戰ニ策應ニ得
 ルノ態勢カニ在ルベシ

海軍

第十信課

480

尚書

禮部

兵部

刑部

工部

部

六一七

一三四〇〇

一三四〇

八五五〇

〇

...

...

● 東西方面...

● 聯合...

● ...

二分ノ一

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

海

軍



大正
第...
第...
第...

第...
第...

- ◎ 第一八... 海軍
- ◎ 第二...
- ◎ 第三...
- ◎ 第四...

第...
第...
第...

海軍

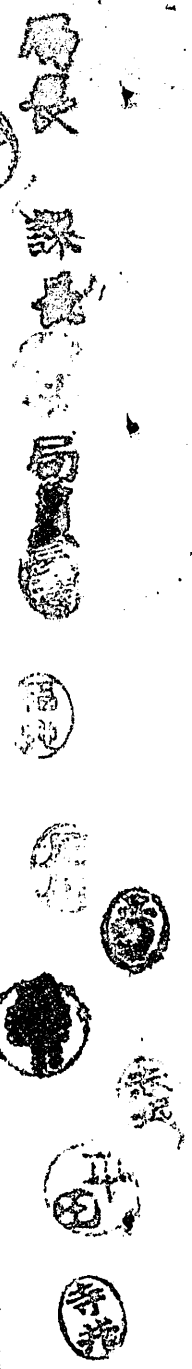
大正...
海軍...
第...
第...
第...

海軍...
第...
第...
第...

海軍

第...
第...
第...

483



第拾課

六一八 陸軍一五三〇 陸一五四〇 陸〇九一八六陸軍

● 九〇一陸マニヲ陸軍

● 一九〇一陸軍陸軍
● 聯合陸軍
● 南洋方面陸軍

陸軍一八一〇二七陸軍

陸上陸軍陸軍第一七二三四五陸軍

九〇一陸軍陸軍マニヲ陸軍ハノカスバマニヲ陸軍トシ中夜六陸マニヲ陸軍十二度以北陸軍十六度以南陸軍一三二度以西陸軍ヲ陸軍
陸軍陸軍陸軍マニヲ陸軍

陸一三二五二 陸二八四二五十一八一四九三五四八海軍一陸軍

484



第一八 海軍一〇五〇 第一五二〇 第一〇一〇 第一〇一〇

海軍 海軍 海軍 海軍

● 海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇) ● 海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

● 海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇) ● 海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

海軍一〇五〇 (海軍一〇五〇)

485

高島 〇
 長崎 〇
 山口 〇
 徳島 〇
 香川 〇
 愛媛 〇
 高松 〇
 岡山 〇
 広島 〇
 尾道 〇
 下関 〇
 山口 〇
 徳島 〇
 香川 〇
 愛媛 〇
 高松 〇
 岡山 〇
 広島 〇
 尾道 〇
 下関 〇

二〇九 愛媛二一四 丁〇八二五 電一〇三〇九 〇作
 〇七四 〇

● 第二基地航空部隊(二三〇機)

● 千島航空部隊

機密第一九一五五一番電

第二基地航空部隊電令作第一四號

一、松輪以北所在部隊ノ兵力配備中一部ヲ左ノ通改ム

(イ) 第一攻撃隊ヲ乙部隊ヨリ除キ配備基地ヲ第一占守基地任務ヲ海上交通保護、進撃トシ丁部隊ト呼稱ス

(ロ) 乙部隊任務中海上交通保護ヲ削除ス

(ハ) 第一機運航空基地現配備戦闘機ノ約半數ヲ第一占守基地ニ配備更

(ニ) 第六艦隊隊ヲ艦爆三機トシ爾餘ノ戦力ヲ丙部隊ニ編入

通一四三三七

呂一A(四二五五KG)大演放

海1 軍

487

三前號(1)及(2)項兵力ハ天候回復成ルベク速ニ
後移動スベシ。

陸軍部

陸軍部

海 2 軍

488

大正

六三一

海防一九一五

第一一九五七號一一四六九

作保

緊急親展

御座(三二通)・御座(三二通)

取入

第一海上陸軍部

海上陸軍部・第三陸軍部・陸軍部・陸軍部・陸軍部

陸軍部二一〇九二五番

御座及第四十八陸軍部

按察使ノ権限ヲ受ケ同部々バオ マニラ同部時ノ職權ニ任ズベシ。

註一本部再録ノ爲録

海一五三三開

海一〇・一三五二〇

海

軍

489

第...課

局長

課長

司書

香

香

香

第十信

香

六三一

昭和二十一年五月一日

五月一日

陸軍省

陸軍省

陸軍省



大臣 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

本署主任 陸軍省 陸軍部 陸軍省

陸軍省 陸軍部 陸軍省

海軍

490

作

陸軍
海軍

受領三〇三〇〇

陸軍二二二三四

海軍一六二二三

作

第三一連信

大海參一部、聯合艦隊司令部、第二三、第二八各艦隊、
第一〇、第二四各連信

陸軍

機密第二二一七三五番

陸軍 〇K 各參謀長

海軍 南方軍參謀長

通譯 一K 下、二K 下、三K 下、四K 下各參謀長

海、陸、空、各參謀長

當海軍指揮下航空兵力^中日防空戰術要訣及海軍作戰兵力以外ハ全部内
南洋ニ轉進スルアリテ同方面戰況ニ鑑ミ之ガ復歸スルトスルモ戰力開

第一六三七八

陸軍A(九三四〇)二二二三四海

軍

復ニハ後小腰三夕月ヲ要スルカ使ツテ露外ノ閩南西要城ノ統帥作戦ハ
 對露作戰以外ハ從來ノ協定ニ拘ラズ貴軍ニテ撫管ノコトニ取計ニ相成
 度

海

軍

492

六三二

作戦要念



陸上陸軍總司令部

電二三二一〇作



- 一機動部隊
- 大津第一師・聯合機隊口・吳鎮・佐鎮・四海上陸軍隊

機密第二三〇一二八番電

參謀長

一最近十日間三於夕ノ南西諸島九州四國南方各距岸三〇〇哩國內及

東京近海出現敵潛狀況左ノ通

- 六月十六日 北緯三五度四七分 東經一二七度〇分（方位測定）
- 六月十七日 北緯二八度二〇分 東經一三〇度一〇分（方位測定）
- 六月十八日 北緯二六度二分 東經一二九度五分（飛行機攻撃跡）

電一八七一 一八七二

呂二A

海軍

493

設

北緯三三度二八分 東經一三五度三五分（舊經）

六月二十一日 北緯三二度十一分 東經一二七度一五分（潛設潜水

艦ヲシキモノ）

六月二十二日 北緯二九度二度三〇分 東經一三二度一五分（方位測

定）

二會方對潛飛行機ノ配備要左ノ通

小艦 大艇八、小艇一二 南大東 小艇二

古仁屋 小艇八 搭積 小艇十四

廣原 大艇五 大材 大艇六

佐世保 小艇八 濟洲島 小艇十二

佐伯 小艇三二

海軍司令部トシテハ一機二箇潜飛行機ノ暗攻國內航路及機管磁針航路

海軍

第十信牌

494

陸軍省

二五

第一三〇六一

本特 照錄



陸軍省

陸

陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍

陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍

陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍

大正五年三月三十一日 陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍
陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍

(1) 陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍

第一、陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍
陸軍省 陸上 陸軍 陸軍 陸軍

陸軍省

陸軍省

海軍省

第十信 照錄

495

第一、北緯二六度六分、東經東經一二三度二〇分、北緯二五度四七分、東經一二三度二〇分、五分、八分
 第二、北緯二七度三九分、東經一二三度三五分、北緯二六度四〇分、東經一二四度二一分、八分
 第三、北緯二五度四六分、東經東經一二六度四三分、五分、北緯二四度二四度六分、東經一二五度三〇分、八分
 (以下略)

海軍

496

第一卷第一回至第十一回

第二卷第一回至第十一回

軍科

第一卷第一回 第一卷第二回 第一卷第三回 第一卷第四回 第一卷第五回
 第一卷第六回 第一卷第七回 第一卷第八回 第一卷第九回 第一卷第十回
 第一卷第十一回 第一卷第十二回 第一卷第十三回 第一卷第十四回 第一卷第十五回
 第一卷第十六回 第一卷第十七回 第一卷第十八回 第一卷第十九回 第一卷第二十回
 第一卷第二十一回 第一卷第二十二回 第一卷第二十三回 第一卷第二十四回 第一卷第二十五回
 第一卷第二十六回 第一卷第二十七回 第一卷第二十八回 第一卷第二十九回 第一卷第三十回
 第一卷第三十一回 第一卷第三十二回 第一卷第三十三回 第一卷第三十四回 第一卷第三十五回
 第一卷第三十六回 第一卷第三十七回 第一卷第三十八回 第一卷第三十九回 第一卷第四十回
 第一卷第四十一回 第一卷第四十二回 第一卷第四十三回 第一卷第四十四回 第一卷第四十五回
 第一卷第四十六回 第一卷第四十七回 第一卷第四十八回 第一卷第四十九回 第一卷第五十回
 第一卷第五十一回 第一卷第五十二回 第一卷第五十三回 第一卷第五十四回 第一卷第五十五回
 第一卷第五十六回 第一卷第五十七回 第一卷第五十八回 第一卷第五十九回 第一卷第六十回
 第一卷第六十一回 第一卷第六十二回 第一卷第六十三回 第一卷第六十四回 第一卷第六十五回
 第一卷第六十六回 第一卷第六十七回 第一卷第六十八回 第一卷第六十九回 第一卷第七十回
 第一卷第七十一回 第一卷第七十二回 第一卷第七十三回 第一卷第七十四回 第一卷第七十五回
 第一卷第七十六回 第一卷第七十七回 第一卷第七十八回 第一卷第七十九回 第一卷第八十回
 第一卷第八十一回 第一卷第八十二回 第一卷第八十三回 第一卷第八十四回 第一卷第八十五回
 第一卷第八十六回 第一卷第八十七回 第一卷第八十八回 第一卷第八十九回 第一卷第九十回
 第一卷第九十一回 第一卷第九十二回 第一卷第九十三回 第一卷第九十四回 第一卷第九十五回
 第一卷第九十六回 第一卷第九十七回 第一卷第九十八回 第一卷第九十九回 第一卷第一百回

第十信 深録

497

0514

作業要旨

六二八

受信 〇〇九五三七
開始 〇九三九

譯了 十〇一〇 電一三九五七 作

親展



- 聯合艦隊司令部・重機作戦部隊△・八幡空襲部隊・横濱
- 大津第一部隊・海上機中
- 東京河北航路部隊△・父中
- 小笠原部隊

機密第二七二一二三番電

發 伊號輸送部隊指揮官

通報 值山海軍航空隊司令 薩長島警備隊司令

第一水雷戰隊機密第二七〇八四七番電中第三輸送隊ノ行動豫定ヲ左ノ

通覽更ス

六月二十八日 〇四〇〇 東京灣出撃 〇八三〇 北緯三四度三八分 東經一三九度三六分
ヨリ 列島線ニ沿ヒ 南下二十八日 一九〇〇 北緯三二度三二分 東經一四〇度七分
二十九日 〇七三〇 北緯三一度一三分 東經一

通一九九〇四 呂二A (機密) 海 1 軍

第十部 機密

500

四三度〇分爾後針路一九〇度三十日〇四〇〇父島一八三〇種實島嶼二二三〇父島二向夕發。

海 2 軍

第拾卷

501

六二八 受信一〇五三〇 傳丁二八三〇 第一四二〇一 作 區

● 中亞太平洋方面部隊、二三機、機場

● 大海軍一隊長、聯合艦隊中、六五驅逐隊下

● 機番第二八一—二二二機電

通報 處

● 陸軍省司令部第四六〇號

一 陸軍省海島部隊ヨリ陸軍東印部隊ニ編入ス東印部隊指揮官ハ嚴島
→ シラビートン港ノ機雷敷設ニ從事ヤシムルニ

二 東印部隊指揮官所在國軍ト連絡ピートン港ニ對シ大型機雷敷設ニ對
スル機ノ施設及幼雷ヲ急遽實施スベシ。

陸軍省司令部第四六〇號

海軍

502

第十部

抄本

六三八

新編 古今和歌集

卷二四三二

作

五

● 東海道新幹線

● 大塚第一線・三十三宮線

● 新築第三八一九五番地

二身ノ二二

● 東西大宮線新駅設置

● 西武池袋線池袋駅第三一〇大宮一線設置

● 第三十回特別編纂委員大塚新幹線第三十八回四月五日委員報告

● 大塚新幹線第三十八回委員報告第三十回特別編纂委員報告

● 第三十回特別編纂委員報告第三十回特別編纂委員報告

● 第三十回特別編纂委員報告第三十回特別編纂委員報告

第三〇三六ノ三〇三六

第三〇三六ノ三〇三六



第拾回録

503

一、海軍第一師団の編成
 一、海軍第二師団の編成
 一、海軍第三師団の編成
 一、海軍第四師団の編成
 一、海軍第五師団の編成
 一、海軍第六師団の編成
 一、海軍第七師団の編成
 一、海軍第八師団の編成
 一、海軍第九師団の編成
 一、海軍第十師団の編成
 一、海軍第十一師団の編成
 一、海軍第十二師団の編成
 一、海軍第十三師団の編成
 一、海軍第十四師団の編成
 一、海軍第十五師団の編成
 一、海軍第十六師団の編成
 一、海軍第十七師団の編成
 一、海軍第十八師団の編成
 一、海軍第十九師団の編成
 一、海軍第二十師団の編成
 一、海軍第二十一師団の編成
 一、海軍第二十二師団の編成
 一、海軍第二十三師団の編成
 一、海軍第二十四師団の編成
 一、海軍第二十五師団の編成
 一、海軍第二十六師団の編成
 一、海軍第二十七師団の編成
 一、海軍第二十八師団の編成
 一、海軍第二十九師団の編成
 一、海軍第三十師団の編成
 一、海軍第三十一師団の編成
 一、海軍第三十二師団の編成
 一、海軍第三十三師団の編成
 一、海軍第三十四師団の編成
 一、海軍第三十五師団の編成
 一、海軍第三十六師団の編成
 一、海軍第三十七師団の編成
 一、海軍第三十八師団の編成
 一、海軍第三十九師団の編成
 一、海軍第四十師団の編成
 一、海軍第四十一師団の編成
 一、海軍第四十二師団の編成
 一、海軍第四十三師団の編成
 一、海軍第四十四師団の編成
 一、海軍第四十五師団の編成
 一、海軍第四十六師団の編成
 一、海軍第四十七師団の編成
 一、海軍第四十八師団の編成
 一、海軍第四十九師団の編成
 一、海軍第五十師団の編成

海軍十師団

504

3

本館 電話一八〇〇〇
NO. 180000 第一四七五 作 編



◎ 第一一編 東京通信 ● 第二五編

◎ 第一二編 第一四一四一四番電

◎ 第一四編

◎ 第四編 南洋通商局長

◎ 第五編 南洋方面商險局長

◎ 第六編 大塚第一部長

◎ 第七編 第一八一六五番電

◎ 第八編 南洋通商局長 南洋方面商險局長 南洋方面商險局長

◎ 第九編 南洋通商局長 南洋方面商險局長 南洋方面商險局長

◎ 第十編 南洋通商局長 南洋方面商險局長 南洋方面商險局長



第十頁

505

東ノ一帯ヲ今ノ一帯ニ遷移スルニ
 之ヲ爲メテ今ノ一帯ニ及ニハ來ルニ
 勢ヲノビテノ國領上兵力ヲ増進スルニ
 今ノ一帯ニ及ニハ來ルニ以下ノ諸國各
 人余國兵力ハ今ノ一帯ニ及ニハ來ルニ
 地領ニ海用スルニ及ニハ來ルニ
 肉腹ナリ

第
十
信
際

海

馬

506

58
K931



大 作

三〇四 東京市立第一図書館蔵

三〇〇三〇 第一四七九四

作

● 東京市立第一図書館蔵

● 東京市立第一図書館蔵
三〇〇三〇 第一四七九四

明治三十二年八月一日

聯合出版部 作部二一五號

一、編輯部 編輯部 第八卷五號 編輯部 編輯部 二卷三號

二、編輯部 編輯部 二卷三號 編輯部 編輯部 二卷三號

三、編輯部 編輯部 二卷三號 編輯部 編輯部 二卷三號

方面 二卷三號

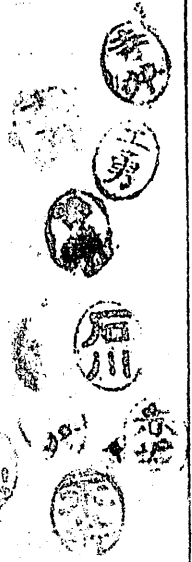
三三二〇六八 明治三十二年十一月



東京市立第一図書館蔵

507

局長
課長
局員



作

- 大塚 第一課 課長
- 大塚 第二課 課長
- 大塚 第三課 課長

後發給三〇〇九四三番號

茲將本館在任三課各課長今改調奉調之入部本八月下旬(詳願書對本
 課發給送其力大部之原明書送本館送還所奉發給送送送送送送送送送送
 不詳之入部之原明書送本館送還所奉發給送送送送送送送送送送送送
 者至本館送還所奉發給送送送送送送送送送送送送送送送送送送送送送

第三二四〇八

西三十八(里)大塚

海 一 一 一

508

局長 課長 局員

福

行

士

赤

第十部

作戦要略

七六三〇 受 始 二二〇〇 丁 二二〇〇 〇〇〇二四二 作

基地航空部隊

大澤 参 一部

南西方面航空隊 北東方面航空隊 二十八航空隊 偵察 偵察 偵察 偵察

機 三〇一七二一 番

聯合艦隊司令部第二一六號

一、八幡航空隊部隊ヲ第五基地航空部隊ヨリ除キ本隊ノ職率トス

内地及南(四)陸島所在三〇一空兵力ヲ八幡航空隊ニ編入ス

二、内地及南方諸島所在第一航空隊兵力(三〇一空)ニ對スル八幡

航空隊指揮官ノ指揮ヲ解キ右兵力ハ第五基地航空隊指揮官所定

ニ依リ菲島方面ニ移動集中スベシ

三、第八航空隊ニ對スル第五基地航空隊指揮官ノ作戦指揮ヲ解キ南

西方面部隊ニ復歸セシム

通二一六九一

附 A ル一七七一

横須賀

海軍

507